



タイのチェンマイ大学建築学部と 学術交流に関する意見交換会を開催

【概要】

2023(令和5)年3月27日(月)に、本学の学術交流協定校であるタイのチェンマイ大学の建築学部から2名の研究者が理工学部を訪問し、これまで約30年間の学術交流の歴史を共有するとともに、これからの学術交流について意見交換を行いました。

【本文】

2023(令和5)年3月27日(月)に、本学の学術交流協定校であるタイのチェンマイ大学の建築学部から2名の研究者が理工学部を訪問し、これまで約30年間の学術交流の歴史を共有するとともに、これからの学術交流について意見交換を行いました。

来訪者はアンピガ・シューマッドタイヤー助教とキティカ・チランタニン助教で、代表者であるシューマッドタイヤー助教は、本学大学院工学系研究科博士後期課程で学位を取得し、現在はチェンマイ大学建築学部の学部長補佐を務めています。理工学部都市工学部門の三島伸雄教授(建築環境デザインコース)と約15年来の共同教育・共同研究を重ねている学術交流協定のキーパーソンで、特に共同教育で複数の大学を交えた建築・都市デザインに関わる国際ワークショップを双方向に実施して、相互の訪問を重ねてきました。また、その国際ワークショップ等を通してチェンマイ大学から学生・研究者が佐賀大学に交換留学・正規留学することで修士課程・博士課程に在籍し、研究成果を上げてきました。三島教授は、その一人である留学生の研究成果をきっかけとして、科学研究費・国際共同研究加速化基金(B)を獲得し、2015年にユネスコ世界遺産の暫定リストに登録されたチェンマイ市歴史地区の防災等に関わる研究を実施しており、チェンマイ大学の研究者と10編を超える共同執筆論文も発表してきました。

今回のチェンマイ大学との意見交換会は、三島教授等が主催して実施する佐賀県鹿島市肥前浜宿での国際ワークショップに参加するためにチェンマイ大学の学生9名と共に来日した中で、ジョイントスタディ等のさらなる発展について意見交換をすることを目的に、本来は渡日される予定であった建築学部長の代理として理工学部を訪問されて開催したものです。

意見交換会には、佐賀大学側から豊田理工学部長、カーン理工学部長補佐(国際交流担当)、三島教授(副学長・国際交流推進センター長)、後藤隆太郎准教授(低平地研究会幹事長)、松永理工学部事務長が参加し、国際企画室と留学生交流室、博士後期課程2年でチェンマイ大学から留学してきたパチャラポーン・ドウワングプッタンさんが陪席しました。

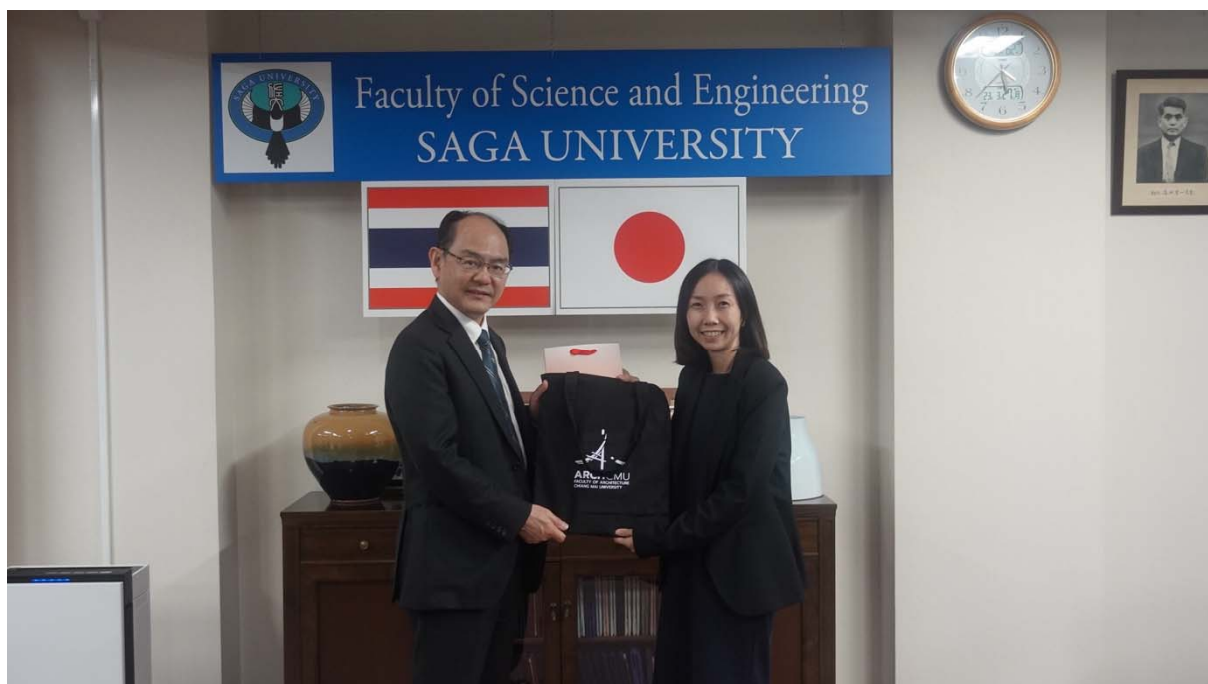
両大学参加者による自己紹介の後、豊田学部長より歓迎の挨拶ならびに大学・理工学部紹介、三島教授よりこれまでのチェンマイ大学との交流実績と実施予定の交流計画の説明が行われました。その後、チェンマイ大学のシューマッドタイヤー助教よりチェンマイ大学と建築学部の紹介および今後の交流の提案が行われました。具体的には、チェンマイ大学で行わ

れる建築学部主催の建築展覧会 2023 ならびに国際会議 2024 への参加依頼、共同研究論文の発表、研究交流、ワークショップ、交換留学の促進、ジョイント・ディグリーもしくはダブル・ディグリーの国際交流協定(MOU)等についてでした。これらについて、佐賀大学から質問を行い、フリーディスカッションで意見交換が行われました。

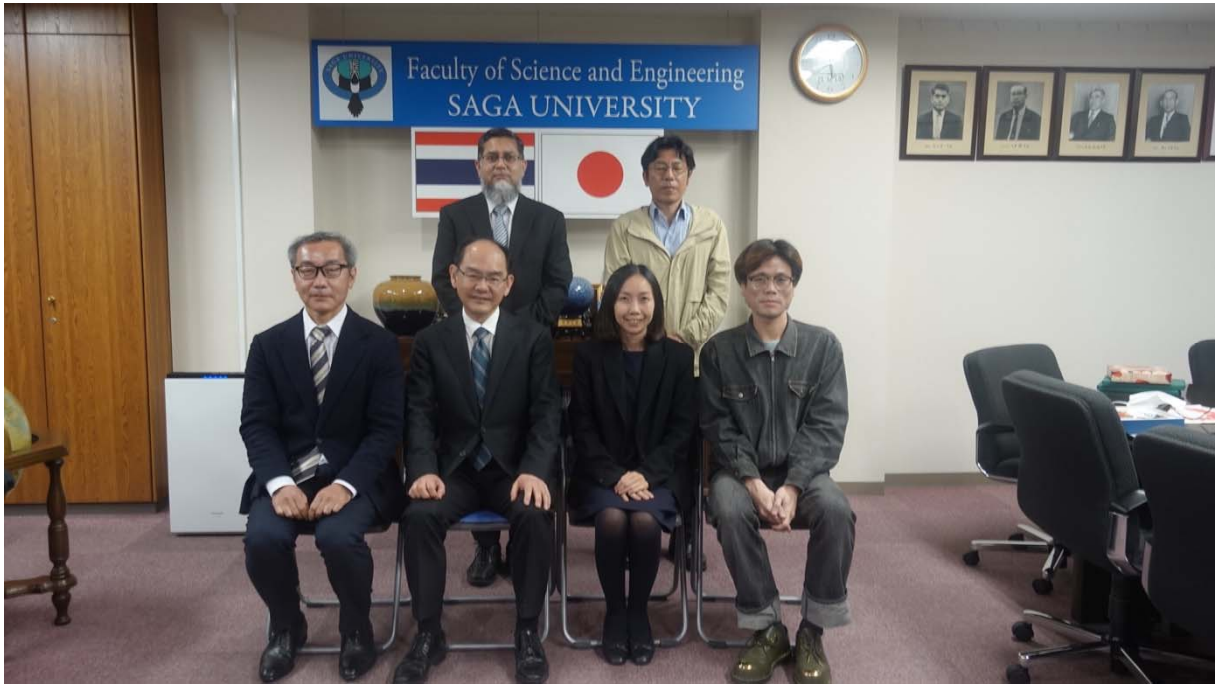
最後に豊田学部長より閉会の辞が述べられ、双方からの記念品贈呈と記念撮影が行われました。



意見交換の様子



シューマッドタイヤー助教より記念品を受け取る豊田学部長



記念撮影（集合写真）